2017年4月21日(金) 10時~11時30分

#### (懇談内容)

◎第2次いずみさの男女共同参画行動計画(人ひとプラン)~ともに創る、女(ひと)男(ひと)の心豊かな未来~について

計画の期間 平成24年度~平成33年度(10年間)

# 基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識改革

- 1 意識改革のための広報・啓発活動の充実 2 教育における男女平等教育の推進
- 3 市職員の男女共同参画意識の向上 4 多様な選択を可能にする生涯学習の推進
- 5メディアにおける人権の尊重 6男女共同参画に関わる調査・研究と情報収集・提供

## 基本目標 Ⅱ 政策方針決定過程への女性の参画

1 積極的改善措置(ポジィティブ・アクション)の強化 2 女性の参画拡大のための環境整備

#### 基本目標 Ⅲあらゆる分野への男女共同参画

- 1雇用の場における男女平等の促進 2地域の活動における男女共同参画の促進
- 3 防災・防犯等における男女共同参画の推進

### 基本目標 Ⅳ仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス) の実現

- 1仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)という考え方の周知
- 2子育て、介護支援の拡充 3男性にとっての男女共同参画の推進

### 基本目標 V自立と参加・参画を支える社会環境の整備

- 1 高齢者、障がいのある人、外国人等が安心して暮らせる環境の整備
- 2ひとり親家庭への支援 3総合相談機能の充実

#### 基本目標 VI男女の生涯を通じた健康・保持支援

- 1リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利)の理解の推進
- 2生涯を通じた男女の健康の保持・増進のための支援

### 基本目標 VIIあらゆる暴力の根絶

- 1あらゆる暴力を許さない社会気運の醸成 2あらゆる暴力への対策の推進
- 3配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援等の推進

「基本目標ごとに課題を設け、課題ごとに担当課を設定し、具体的施策、具体的対応を行い、全 庁の取り組みとし、年次調査をしている。よりスタンダードなプランだが、どうすすめていくか、 どう取り組みにしていくかに重点をおいている。」

### ◎審議会の設置について

「人権全般の審議会があり、その中の部会として男女共同参画すいしん計画策定部会があった。 今年度は男女共同参画専門の審議会を立ち上げ、市民公募で2名加入し7月にはスタートさせたい。男女どちらかの性が40%を下回らない(50%が理想だが)。28年度は女性が19%。

#### ◎その他の取り組みについて

- ・いずみさの女性センター(レイクアルスタープラザ・カワサキ生涯学習センター1F) 27年度来館利用者は、女性2523人、男性744人合計3267人で年々増加している。
- ・市職員・市民ボランティアが講師となって、企業や社会福祉法人、小、中、高校などに出向 き、出前講座を実施している。
- ・女性に対する暴力をなくす運動期間 (11 月 12 日~25 日)事業として、パープルリボンツリー制作活動を実施。
- ・理系女子応援プロジェクト〜実験大好きな女の子集まれ!〜子どもサイエンス・キャンパス「できるかな?レモンで電池」など多種多様な学習事業を実施している。
- ・いずみさの男女共同参画つうしん「Fine」を発行。

## ◎職員の男女就業比率、管理職の男女比率等

- ・全職員の3割~4割が女性
- ・管理職の女性比率 28年度 部長3,3%、課長6,9% 課長代理13,8%(消防、病院を除く)

### ◎男性職員の配偶者出産休暇及び育児参加のための休暇取得率及び平均取得日数

・出産休暇や子どもの看護では、休暇取得しているが、育児休暇の取得率は0である。

## ◎女性相談等について

- ・予約制の面接相談を行っている(1人50分) 継続の方が多い為、新規枠を設けている。
- ・電話相談は、年々減少しているので、平日の対応がニーズに沿っていないのか、土曜日の特設相談を行う予定である。第1~4水曜日 10時~12時 13時~15時面接相談は120件、電話相談は50~60件総合生活相談は、男女共400件~450件

#### (感想)

市民1人ひとりが個人として尊重され、責任を分かち合い、助け合いながら、家庭、職場、地域で男女が平等で共に参画する社会の実現に向けた取り組みを進めるため「泉佐野市男女共同参画まちづくり条例」が制定され、今年4月1日に施行されました。市民ボランティアと協力しながらの学習事業や、地域女性活躍推進交付金事業では、年齢や性別を問わず関心を持ってもらえるセミナーや講座が開催されています。学校への出前授業は12年目となり、時代の変化を把握した内容で取り組みを進めているそうです。

「第2次いずみさの男女共同参画行動計画」の課題ごとに担当課を設定して全庁あげて 取り組みがされているのが印象的でした。